ISSN 1880-4632　第１９１号

昭和
（題字・大槻文平初代会長）
（毎月１回　10日発行）
発　行　所
㈶昭和聖徳記念財団
〒190－0012
東京都立川市曙町2-34-13
オリンピック第３ビル
電話（042)522-2451
FAX（042)522-7747
http://www.f-showa.or.jp

# 昭和天皇記念館

# 天皇皇后両陛下ご来館

## 開館1周年を前に

## 来合わせた来館者は感激

天皇皇后両陛下は六日午前十一時過ぎ、昭和天皇記念館にご来館になり、昭和天皇・香淳皇后のお写真やご遺品等をご覧になって、激動の昭和時代を振り返られ、同時にご一緒の日々を懐かしく思いだされたご様子でした。昨年十一月二十七日の開館後、一周年を前にしてのご来館に、激しい雨の中を来合せた一般来館者は幸運を喜び、さらにお声をかけていただいて感激でした。

＝2、3面に写真

藤村理事長（左から２人目）のお出迎えを受けられる天皇皇后両陛下

両陛下は午前十時四十分ごろ、国営昭和記念公園事務所(東京都立川市)にご到着、公園を管轄する国土交通省幹部並びに昭和天皇記念館を運営する昭和聖徳記念財団の綿貫民輔会長らのお出迎えを受けられたあと、マイクロバスに乗り換えられて「花みどり文化センター」内の昭和天皇記念館へ。

十一時十一分、同センターの記念館側の玄関にご到着、一般来館者にもお声をかけられたあと、昭和天皇記念館の入り口で財団の藤村正哉理事長と長門保明専務理事（館長）のお出迎えをお受けになり入館されました。

昭和天皇が学習院初等科のご学友とご一緒に写されたお写真の前では、渡邉允侍従長に侍従長の父上の所在についてお尋ねになり、「日光田母沢御用邸で、大正十年、昭和天皇がご訪欧後に秩父宮、高松宮、三笠宮とご一緒に写されたお写真」をご覧になられて、天皇陛下は学習院初等科時代の御用邸での疎開生活を思い出されて、当時の状況を皇后陛下にご説明になっておられました。

香淳皇后ご愛用のグランドピアノ、昭和天皇のご生前のビデオをご覧になり、続いて、「昭和三十一年にエチオピア皇帝が国賓として来日された際のお写真」の前では当時の国賓ご接待の様子を、また「復元された生物学御研究所御研究室」の前では展示されていたディスカッション顕微鏡について「一枚のプレパラートを二人一緒に覗きながら意見の交換ができる」利点をご自身も魚のハゼを研究されておられるだけに皇后陛下に丁寧に解説しておられました。

十一時五十四分、全てをご覧になられた両陛下は、財団並びに記念館職員のお見送りを受けられて記念館をあとにされました。

記念館口の高野槙（矢印）

## 行幸啓を仰いで

昭和聖徳記念財団会長　綿貫民輔

このたび、昭和天皇記念館に天皇皇后両陛下の行幸啓を仰ぎ、関係者一同、感激の極みであり、光栄の至りでございます。

昭和天皇のご事績を末永く伝え継いで行こうとする私たちの活動は、なによりもそのお姿やご事績をありのままに正しく伝えることをその任務と心得ております。記念館の開館にあたり、皇室から格別のご配慮をもって昭和天皇や香淳皇后に関するゆかりの品々や資料、映像などを数多く拝借することができました。厚く感謝申しあげる次第でございます。いままで国民が拝見することができなかった皇室のありのままのお姿を来館者が拝見する機会をあたえられたことはきわめて意義深いことと存じます。

おかげをもちまして、わが国の戦後の奇跡的な復興をあけぼのすぎの成長になぞらえて「昭和天皇とあけぼのすぎ」というテーマで開催しました開館記念の特別展に続き、この九月十二日からは「昭和の皇后『良子さま』～お絵とピアノ～」と題しまして昭和天皇を支えてこられた香淳皇后の温かいお人柄が偲ばれる作品の数々とご愛用のピアノなどを展示することが可能となりました。

その記念館に両陛下をお迎えすることができましたことは、記念館にとって無上の喜びであります。当記念館の存在があらためて国民に注目されることにもなり、ひとりでも多くの来館者を迎えることができますことは、まことに心強い限りであります。皇室に対する理解と尊崇の念が一段と深まり、皇室と国民とのつながりが一層強固なものとなることと確信いたしております。

大槻文平氏をはじめ歴代会長や記念館の開館に向けて尽力された先人たちにもきっと喜んでいただけたものと存じます。

先月六日、皇室においては秋篠宮家に親王ご誕生のご慶事がありました。両陛下にとって四人目の皇孫殿下、とりわけ四十一年ぶりの親王ご誕生というおめでたいニュースにそのお慶びはいかばかりかと拝察いたします。心からお祝い申しあげたいと存じます。

その昔、昭和天皇ご誕生の折、昭憲皇太后が命名の儀もすまない時期に早々とご対面にお出ましになるということがあり、その感激を詠まれた大正天皇の漢詩が記念館内に掲げられております。秋篠宮殿下のご心境もまさしくそのとおりかと拝察いたします。また、当記念館口の両側に悠仁親王さまのお印である「高野槙」が植えられております。昭和天皇ご在位五十年を記念して造成された皇室にご縁の深い公園であるとはいえ、この偶然に驚き、かつ、喜んでおります。開館以来の念願であった両陛下のお出ましをいただけた記念館にとっても重ねての喜びであります。ぜひとも大勢の方にご来館いただいてこの喜び、感動を分かち合っていただきたいと思います。

**昭和天皇御製**

すこやかに空の旅より日のみこの
おり立つ姿テレビにて見し

昭和二十八年

**香淳皇后御歌**

日の丸を花もて作りしシャルロワの
食堂の飾に心ひかれぬ

昭和四十六年

### ひと口メモ

御製は、昭和天皇の御名代としてエリザベス女王の戴冠式に参列され10月にご帰国になられた皇太子殿下（今上陛下）を詠まれたものです。

この刊行物は、宝くじの普及宣伝事業として助成を受けて作成されたものです。